開催報告書（22.10.22 version）

Remember Girl’s Power !! 2022（オンコロライブ）実行委員会

【Remember Girl's Power !!の開催目的】

現在、毎年2,500人もの子供たちが「がん」と診断され、15歳～39歳のAYA世代と言われる20,000人以上もの若い人達が「がん」と診断され、過酷な人生に立ち向かっています。小児・若年者の「がん」の特徴は、大人のがんと異なり、多くは予防・検診は有効ではなくまた生活習慣を要因に発生したものではありません。

そんな中、彼らは厳しい治療を乗り越え、今も闘い、誤解や偏見の中、時に、再発の危険性に怯えながらも、しっかり将来を見据え頑張っています。そして、より一層希望の持てる治療の開発を待ち望んでいます。

このような事から、このイベント、音楽を通じ、一人でも多くの人たち、特に、次の世代を担う若者に小児がん・AYA世代のがん、臨床試験の知識を持つきっかけとなり、がん患者・体験者支援、疾患啓発、研究支援につなげることを目的とします。

Remember Girl's Power!! 2022

小児がん・AYA世代のがん、臨床試験（治験）啓発ライブ

9.3-4　9.9-10
無料オンライン配信

がんと・ひとを・つなぐ オンコロ

-主催 -

がんと・ひとを・つなぐ オンコロ

がん情報サイト「オンコロ」

- 共催 -

90TH Anniversary としま区制 90周年

豊島区

- アカデミア共催 -

学校法人 山口学園

東北大学大学院医学系研究科 医学統計学分野

認定特定非営利活動法人 西日本がん研究機構

- SUPPORTERS -

アフラック生命保険株式会社

一般社団法人
Alliance for Lung Cancer

エイペックスメディカル
株式会社

メディカル・モバイル・
コミュニケーションズ合同会社

- SUPPORTERS -

アストラゼネカ株式会社

イースト駅前クリニック

日本イーライリリー株式会社

株式会社ネオ・コミュニケーションズ

株式会社ノイエス

株式会社メディサイエンスプラニング

- SUPPORTERS -

株式会社 アサヒ・シーアンドアイ/アッヴィ合同会社 /

アムジェン株式会社 / エイツーヘルスケア株式会社 /

金原出版株式会社 / 一般社団法人キャンサー・ベネフィッツ/

StoCretec Japan株式会社 / 武田薬品工業株式会社 / 東京建物株式会社

株式会社FourH株式会社 / メディカル・プリンシプル社

- 企画制作 -

3Hグループ　Remember Girl's Power!!2022 実行委員会

- 制作 -

メディカル・モバイル・コミュニケーションズ合同会社

- 制作協力 -

生活向上WEB / 株式会社ワロップ放送局 / 株式会社ネオ・コミュニケーションズ /
株式会社 grabss（TIGET）/ 株式会社サンシャインシティ

- 感染対策 -

東京センタークリニック

観客数報告

	現地		オンライン視聴				
イベント	有料	無料	視聴数	ユニーク視聴者数	インプレッション	全編鑑賞	平均視聴時間（min）
4日間合計	437	22,874	10,748	2,037	28,407	626	20

現地有料視聴者437、無料視聴者22,874、オンライン視聴者10,748となり、合計34,059人の方々に現地観覧・オンラインにて視聴頂きました。2016年以降最高の数字でより多くの方々へ本イベントのメッセージが届きました。

●寄付について

● 現地募金	539,135円
● 寄付チケット販売	254,000円
● 優先エリアチケット（50%）	1,181,000円
● サイン入りTシャツ・ポスター他（50%）	497,570円
合計	2,471,705円

現地寄付（100%）、寄付チケット（100%）、寄付付き優先エリアチケット（50%）、物販（50%）の合計を寄付総額とし外部拠出致します。優先エリアチケット、物販の残り50%は制作費に充当しています。

- 寄付外部拠出先（予定） -

	団体名	金額
1	認定NPO法人にこスマ九州	300,000円
2	聖路加国際病院	500,000円
3	国立成育医療センター	500,000円
4	水戸部 ゆうこ氏がんサロン事業活動	100,000円
5	高須 将大氏 サバイバー支援事業活動	100,000円
6	公益財団法人 がんの子供を守る会	300,000円
7	公募団体（3団体程度）	671,705円
	合計	2,471,705円

4日間にわたり延べ80名以上のアーティスト・登壇者により開催されました！

池袋西口公園グローバルリングアター

アシスタント：佐藤 遥

実行委員長：柳澤 昭浩

アシスタント：荻野 可鈴

総合司会：笠井 信輔

9/3(土)：Day1

麻美 ゆま

荒井 麻珠

木山 裕策

植村 花菜

Leola

9/4(日)：Day2 Session1

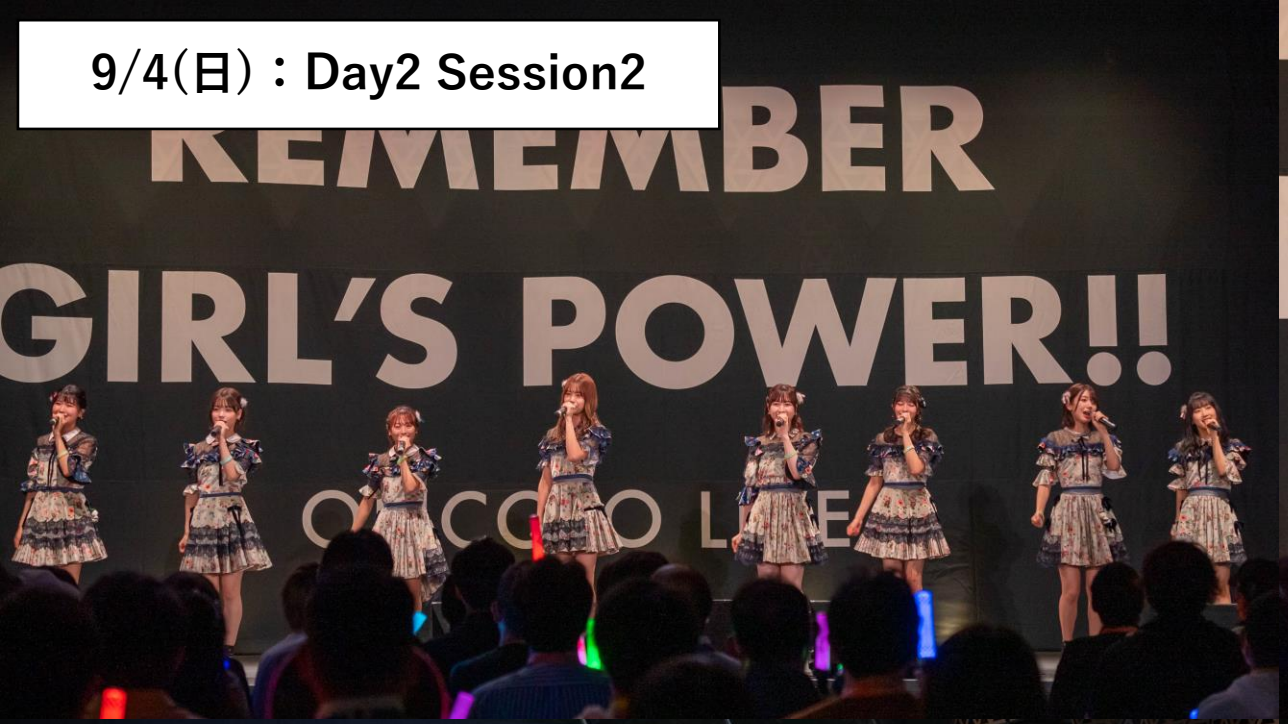
まねきケチャ

CROWN POP

Gran☆Ciel

notall

9/4(日)：Day2 Session2



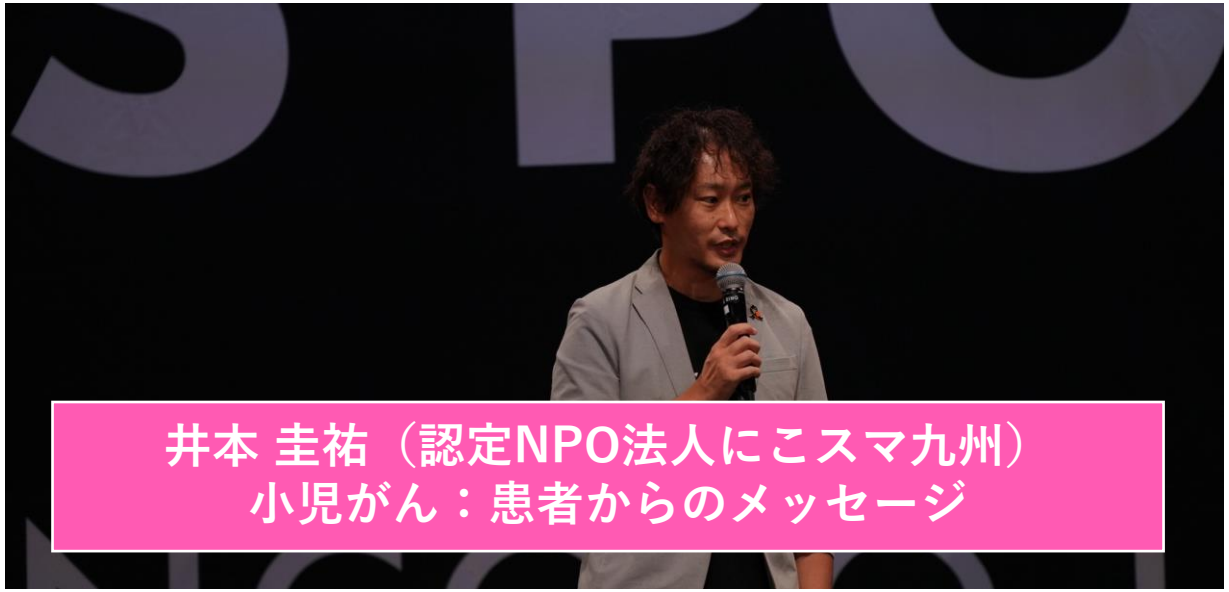
AKB48 Team 8

Day1/Day2 啓発セッション

橋本 久美子（聖路加国際病院）
AYA世代のがん：医療者からのメッセージ

山口 拓洋（東北大学大学院医療統計分野）
臨床試験：医療者からのメッセージ

松本 公一（成育医療センター）
小児がん:医療者からのメッセージ



井本 圭祐（認定NPO法人にこスマ九州）
小児がん：患者からのメッセージ

サンシャインシティ噴水広場

アシスタント：矢方 美紀

総合司会：笠井 信輔

豊島区 高野 之夫区長

9/9(金)：Day3

松澤 由実

Luce Twinkle Project☆

Pile

豊島区がん検診啓発セッション
佐藤 信博さん（池袋保健所）
城崎 桃華さん（ももか）
中川 和彦先生（近畿大学）

9/10(土)：Day4

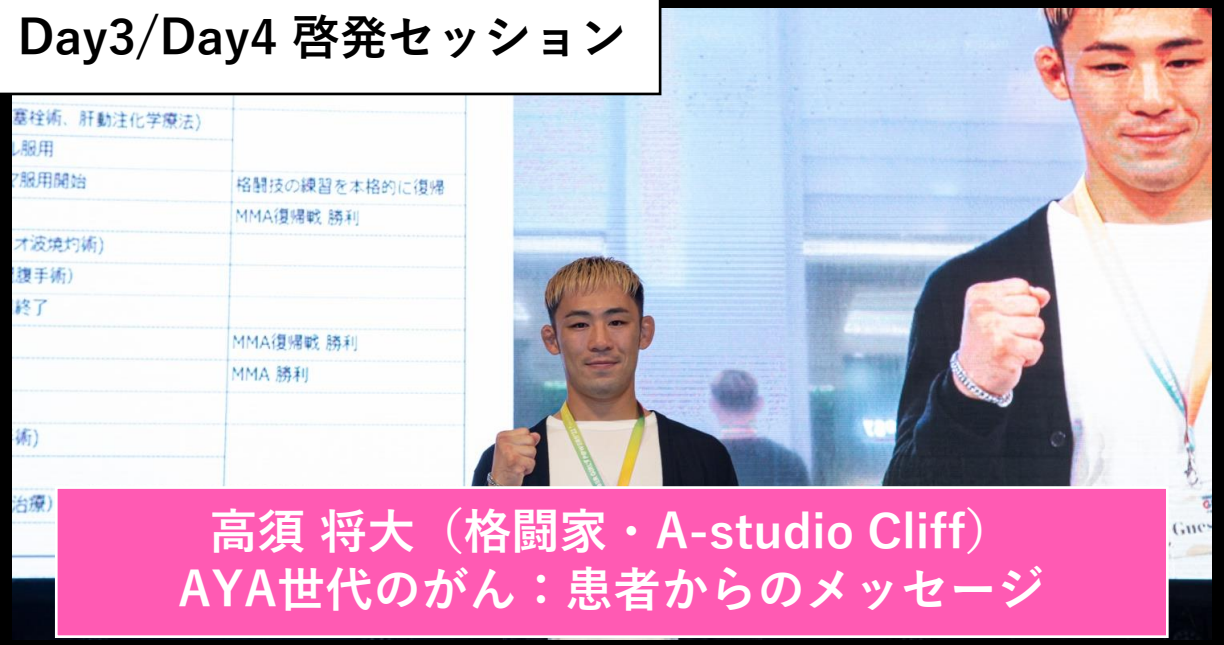
クマリデパート

Twinkle Project☆

虹のコンキスタドール

アップアップガールズ（2）

Day3/Day4 啓発セッション



高須 将大（格闘家・A-studio Cliff）
AYA世代のがん：患者からのメッセージ

水戸部 ゆうこ
臨床試験：患者からのメッセージ

＜参加者からのアンケート自由回答＞
541人より貴重な意見を頂戴しました。全てのご意見については加筆・修正せず、後日そのまま共有致します。これらのアンケート調査の結果は、どのように行動変容につながるかなどの視点にて2023年日本臨床試験学会で発表の予定です。

・とても悲しい話しもあったかと思うけど、アイドルの明るさで元気に前向きに、ガンについて興味を持ててとても有意義な時間でした。（40代男性）
・普段応援しているアーティストが、普段なかなか調べたりする機会のないがんについての話をしたりすると、興味関心を持つきっかけになるので、大きなイベントまではしなくても、定期的に情報発信する機会があると良いと思います。（40代男性）
・自分自身該当する年齢であり、けして他人事ではないのだと知ることが出来ました。またこれまで1度も考えてこなかったけれど、自分や周りの友達や家族、話すきっかけができたイベントでもありました。 ガンは怖いものではあるけれど、かと言って悲観しすぎず近年では医療の発達で治るものであるということ、MCや先生方のお話を聞いて、これから先自分がガンになる可能性、周りの人がガンにある可能性も含めて、改めて自分の中で意識が変わったと思います。（20代女性）
・エンターテイメントは世界を救う。こんな時世だからこそ、チャリティーライブには意味があったと思います。 モヤモヤし塞ぎがちな日々から、こうして少しずつ変わっていくことを感じることができたのは、ありがたいことでした。（40代男性）
・ライブに参加するという普段している行動がそのままチャリティーになっているという事が素晴らしいと思いました。寄付というのは金持ちの道楽というイメージがあったので寄付に対するイメージが変わりました。楽しんでもらって寄付してもらう。まさにwin-winですね！日本全体にもっと広がってほしい活動だと思います